

# 庁議の概要

開催日 平成26年6月9日（月）

## ◎項目

### 1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

## ◎内容

### 1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

#### ○宗田節について

（水産振興部）

宗田節については、これまで産振の補助金なども活用させていただいて、3年間販促、PR活動をさせていただいた。今年度からは水産振興部の外商の補助金等で、清水サバなども含めて、土佐清水市の水産物の外商活動をやっていく中で宗田節も取り組むということになる。予算的には少し絞った形にならざるを得ないが、今年の「高知家」統一プロモーションの重点品目にも位置づけしてもらっているので、連動した取り組みをやっていきたい。また、観光の「リョーマの休日」の「高知家の食卓キャンペーン」とも連動した形で効果的なやり方でやっていきたいと考えている。

（知事）

宗田節は、重点品目として重点投入するので、この際大いに加速をして、取り組みを進めるように。産業振興推進部と水産振興部で大いに連携してやるようお願いする。

もう1つは、日本食がユネスコの無形文化遺産に登録された。旨味というものが売りになっているとき、宗田節はまさに旨味の粹みみたいなものなので、高級品としての輸出といったシェアなんかも開けるかもしれない。

この際、一步一步というより飛び超えるぐらいのつもりで頑張ってもらいたい。現状からの進展というだけではなかなか、高い目標からのアプローチも必要だと思う。特に重点品目系はそういうことを意識してほしい。

#### ○業務の進め方について

（知事）

4月、5月、それぞれの諸計画について、いい形でロケットスタートが図られていると考えている。この6月ぐらいから7月ぐらいにかけては、本格的な施策の始動、具体的な活動の展開にかかっていく時期になってこようかと思う。

例えば、第2期の産業振興計画もいよいよ3年目に入り、具体的な成果を上げていくことが重要になってくる。この2年間取り組んできて、どういう結果が出てきているのか、どういう成果を残しているのかということを改めて各部局内で共有を

して、具体の成果を大いに意識して取り組みを進めていただきたい。

27年度の目標が達成できるかどうかということについて、26年度にそれなりのポジションにつけておかないと27年度の目標は達成できないということになるろうかと思うので、この6月、7月ぐらいから、その施策が具体的に効果を及ぼすような展開を始めていることが重要になる。

今までやってきたことの延長で、さらに追加してやっているからいいだろうではなく、目標から照らして考えて、その目標が達成できるだろうかということ考えてなくてはいけない。こうしたところの徹底をお願いします。

## ○国土強靱化計画について

(知事)

これから南海トラフ地震対策行動計画を推進していく。同時に、国土強靱化計画の地域計画づくりをしていく。国土強靱化計画は、他の災害も視野に入れるという点で視野が少し広いというのが一つ。二つ目は、恐らく政府において意識しているのが地域間連携だと思う。そういう意味において四国他県とまず国土強靱化計画づくりをするときに非常に密な連携をして取り組みを進めていくということが必要になってくるだろう。

国土強靱化計画では、国の計画づくりに合わせての地域計画づくりということになるので、地域でつくる時も国全体としてどうかということの大いに意識しないといけない。少なくとも第一歩として近隣との連携はどうかということ意識しないといけないし、もう1つは国に何をしてもらい必要があるのかということをすごく意識する必要がある。そうした視点というのを大いに入れていってほしい。

まずは危機管理部でいろんな準備を進めてもらうが、実際に防災対策を考えていく各部でも近隣県、さらには国との連携ということ意識しないといけないところも出てくると思うので、お願いします。